

旧アール・デ・エンジニアリング最終処分 場に係る特定支障除去等事業の 進捗状況について

平成29年3月29日

事案の概要

事案名称

滋賀県栗東市旧産業廃棄物安定型最終処分場不適正処分事案



不適正処分事業者

株式会社 アール・ディエンジニアリング

施設の種類(許可内容)

安定型処分場

昭和54年12月許可(業)

面積: 約4万8千 m^2

許可品目: 安定4品目

(がれき類、ガラス陶磁器くず、ゴムくず、廃プラスチック類)

容量: 約40万 m^3

中間処理施設

焼却施設: 2基

不適正処分の内容

許可品目以外の埋立

許可容量の超過

埋立容量: 約72万 m^3

約1.8倍

支障等の内容

- ① 廃棄物の飛散・流出
- ② 地下水の汚染
- ③ 悪臭による生活環境の支障

特定支障除去等事案の概要

支障等の内容

- ①廃棄物の飛散・流出 : 一部法面が急峻・覆土がされていない
- ②地下水の汚染 : 安定型産業廃棄物以外の廃棄物を埋立て
- ③悪臭による生活環境の支障: 過去に高濃度硫化水素ガスの発生

一次対策

平成24年9月～平成25年3月

- ・有害物の掘削除去
- ・地下水汚染拡散防止

事業費: 約2.8億円

二次対策

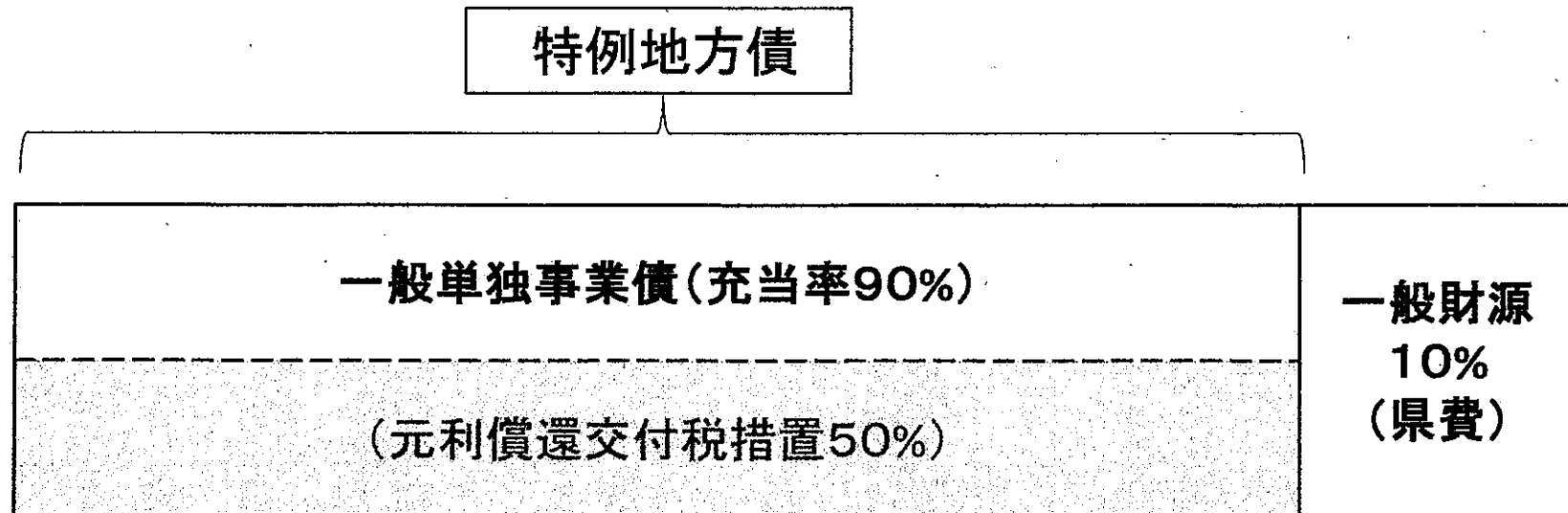
平成25年12月～平成33年3月 (事業としては平成35年3月まで)

- ・底面、側面の遮水
- ・浸透水の揚水、浄化
- ・有害物の掘削除去
- ・法面の覆土

事業費: 約70億円

特定支障除去等事案の概要

産業廃棄物特措法に基づく特定支援除去事業への財政措置



■二次対策工事や廃棄物の処理処分、周辺環境影響調査に要する費用等、ほとんどの経費については、産廃特措法に基づく国の財政支援として、事業費の90%について地方債(一般単独事業債)が認められ、その元利償還金の50%は特別交付税で措置される。

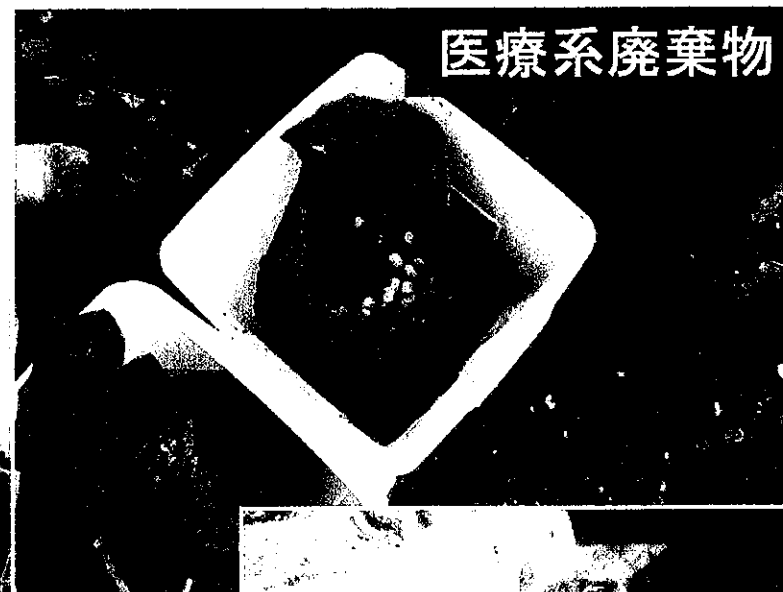
一次対策工事

目的

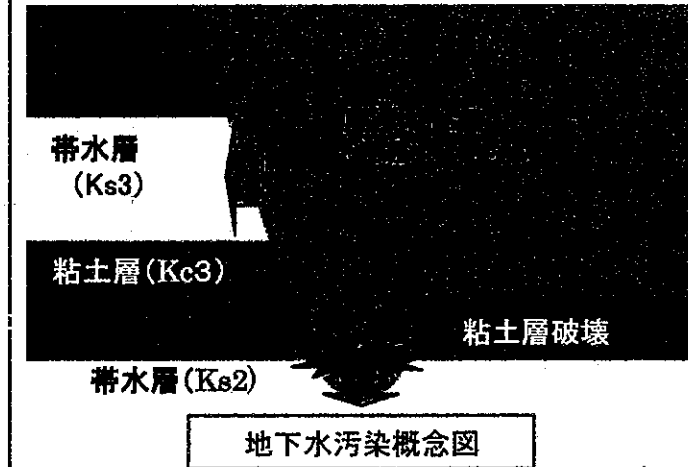
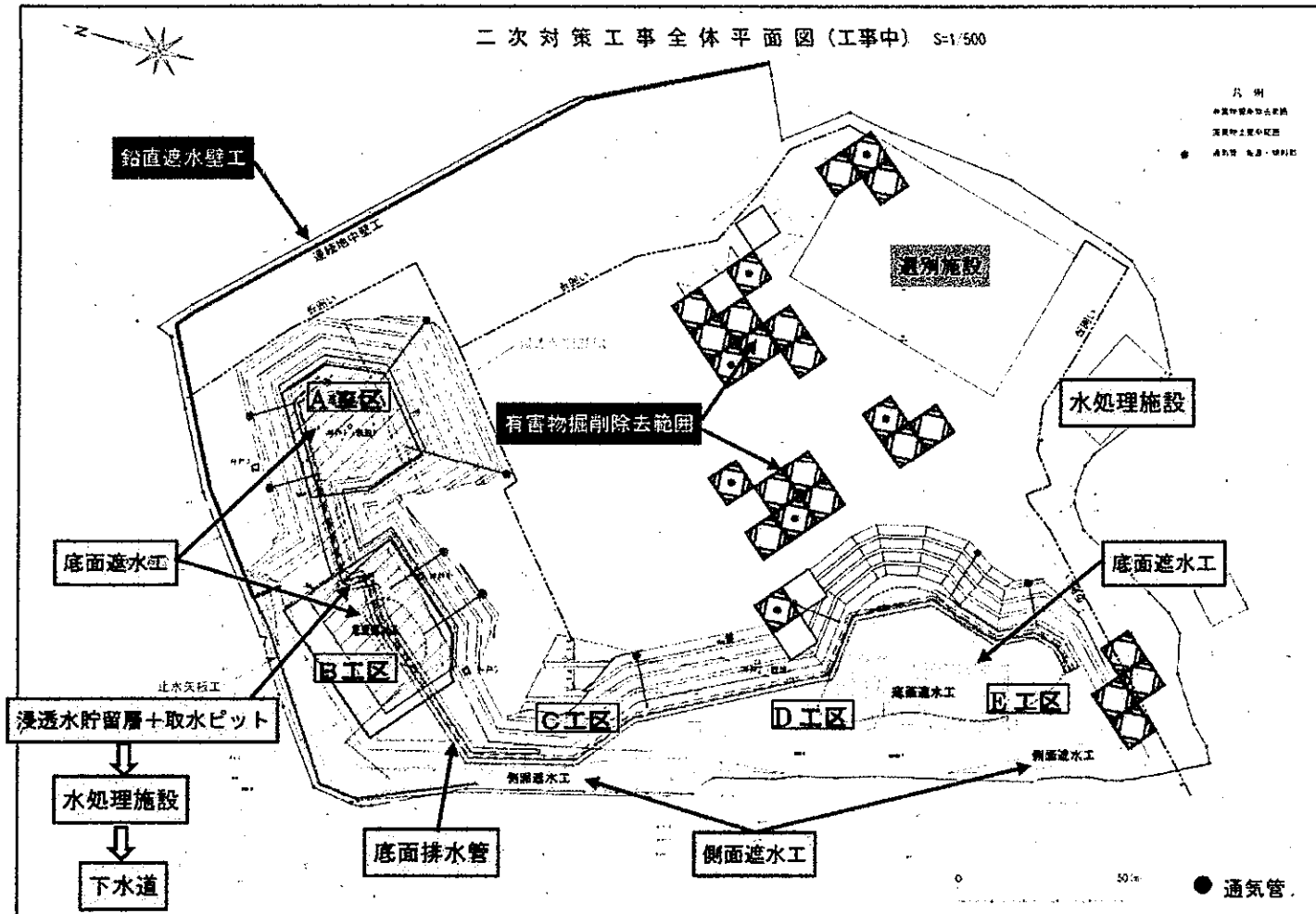
- ①調査により位置を特定できた有害物の掘削除去
地下水位よりも高い位置の有害物を掘削除去
- ②浸透水揚水井戸の設置
地下水の汚染拡散を軽減

工期

平成24年9月～平成25年3月



二次対策工事の概要(平成25年12月～平成33年3月)



- ① 廃棄物に浸かった水が地下水に流れ込まないように遮水(底面遮水、側面遮水、鉛直遮水工)
その際に掘削した廃棄物土は、選別施設で廃棄物と埋め戻し材に分別(掘削→選別施設)
- ② 遮水して溜まる水は水処理施設で処理して下水道に放流。滞留水を減らして硫化水素やメタンの発生を抑制(浸透水貯留層→取水ピット→水処理施設→下水道)
- ③ 調査の汚染の原因となる基準を超えた廃棄物土を掘削し処分(有害物掘削除去)
- ④ 処分場の表面をきれいな土やシートで覆い、廃棄物の飛散流出を防止(覆土工+表面排水路)

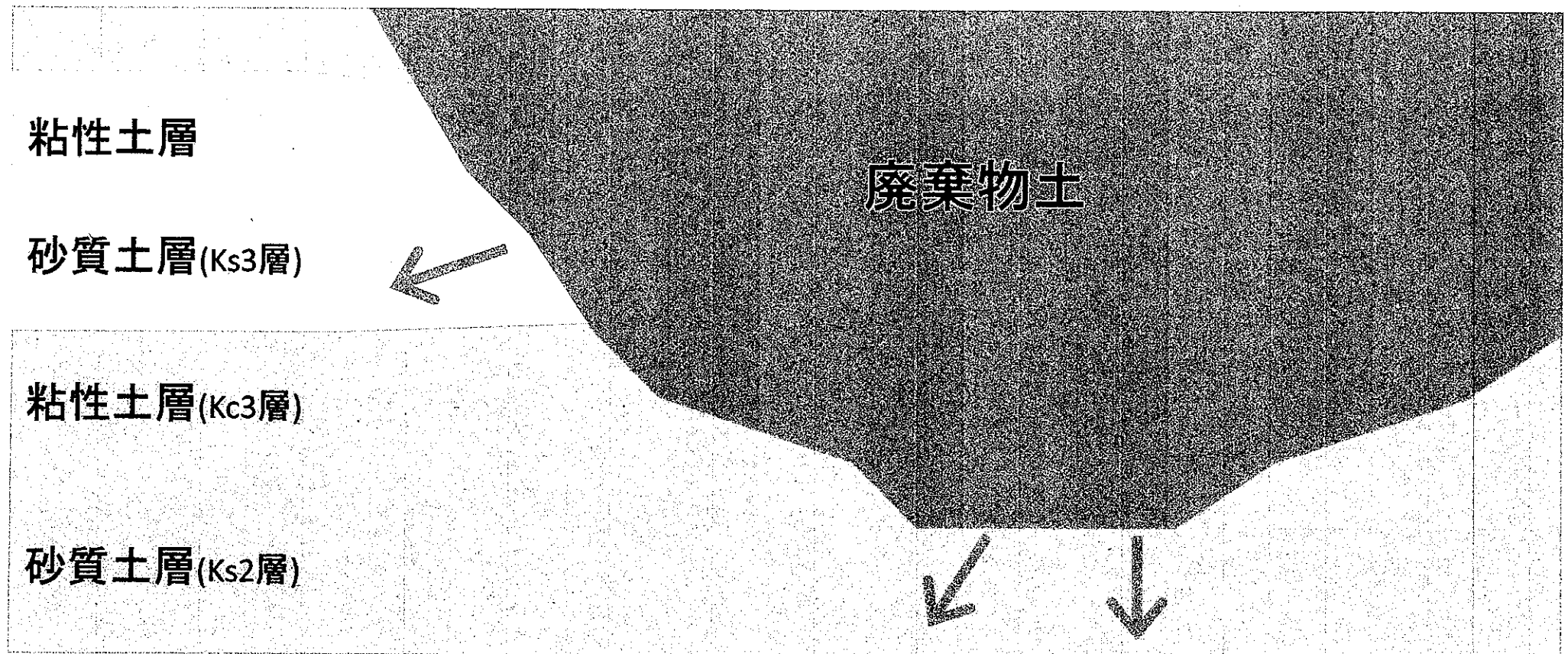
二次対策工事

①浸透水の漏洩防止措置

目的

①浸透水の漏水防止措置

- ・欠損した底面粘性土層の遮水
- ・側面帯水層から浸透水の流出を防止



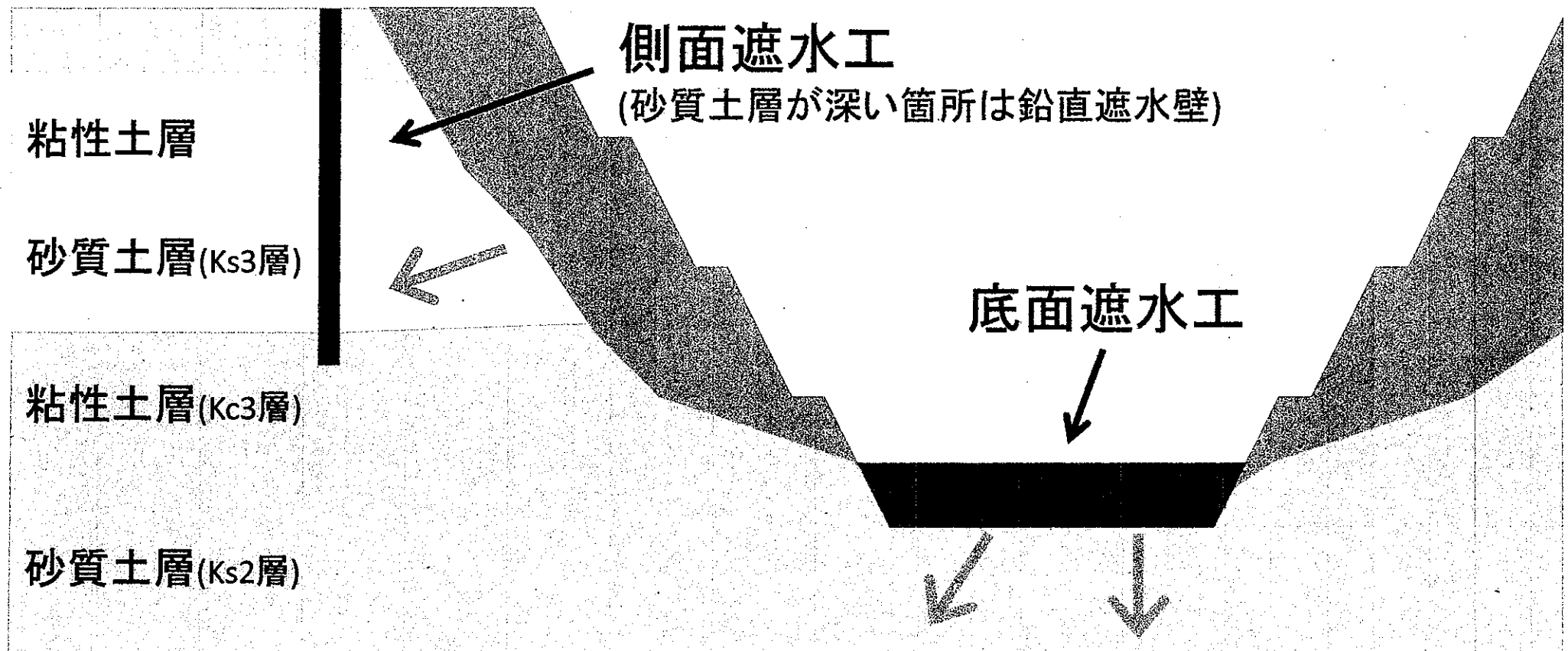
二次対策工事

①浸透水の漏洩防止措置

目的

①浸透水の漏水防止措置

- ・欠損した底面粘性土層の遮水
- ・側面帯水層から浸透水の流出を防止



二次対策工事

①浸透水の漏洩防止措置

A工区

- ・廃棄物土掘削工
- ・止水矢板工
- ・底面遮水工
- ・浸透水貯留層工
- ・選別土埋戻工

埋戻し可能物

- ・選別土仮置

選別処理施設 水処理施設

- ・運転管理

B工区

- ・廃棄物土掘削工

C工区、D工区、E工区

- ・廃棄物土掘削工

平成29年2月27日

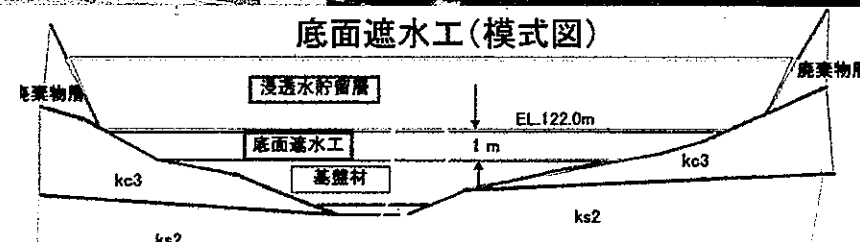
平成28年度の工事施工箇所



二次対策工事

目的

①浸透水の漏水防止措置

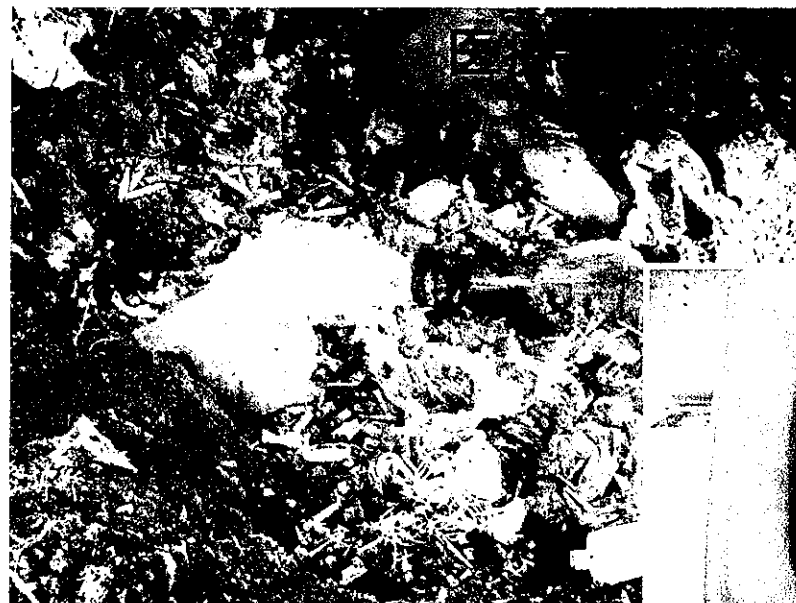


底面粘性土の欠損箇所を掘削に確認したのち
セメント改良土で遮水

二次対策工事土工・処分実績(平成29年2月末現在)

項 目		数量	単位	備考
仮置物撤去土量		21,300	m ³	
A工区等掘削土量		94,500	m ³	
埋戻可能物仮置土量		100,200	m ³	
埋戻再生資源		16,300	m ³	
場 外 へ の 搬 出 ・ 処 分 量	廃棄物	可燃物(主に廃プラスチック類で木くず等が混じるもの)	15,200	t
		不燃物(ガラス陶磁器くず、金属くず)	980	t
		有害物(掘削由来:バッテリー、感染性廃棄物相当物)	8.5	t
		有害物(場内残置物:バッテリー、変圧器等)	0.8	t
		有害物(A-1区画他)	4,300	t
	廃棄物 混じり の土	ドラム缶およびその内容物が浸潤した 廃棄物土・医療系廃棄物混じり土	74	t
		鋭利なものを含む等、選別に適さない廃棄物土等	590	t
		セメント混合廃棄物土	118	t
	選別土等	ふっ素が土壤環境基準を超過したもの	3,000	t
		覆土等で鉛が土壤環境基準を超過したもの	1,400	t
資源化		金属くず	97	t

主な有害物



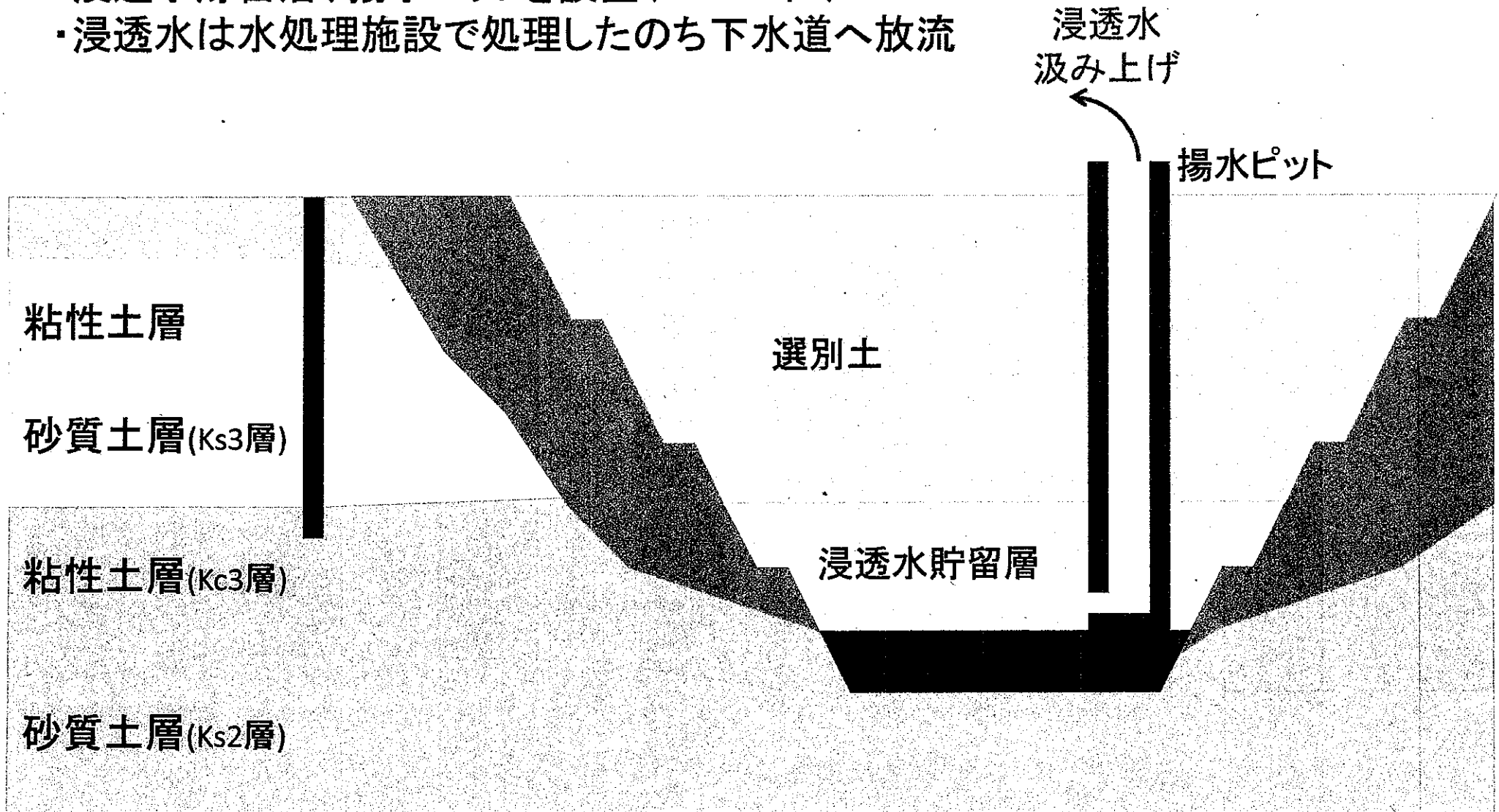
二次対策工事

②浸透水の揚水および処理

目的

②浸透水の揚水および処理

- ・浸透水貯留層、揚水ピットを設置(A・B工区)
- ・浸透水は水処理施設で処理したのち下水道へ放流



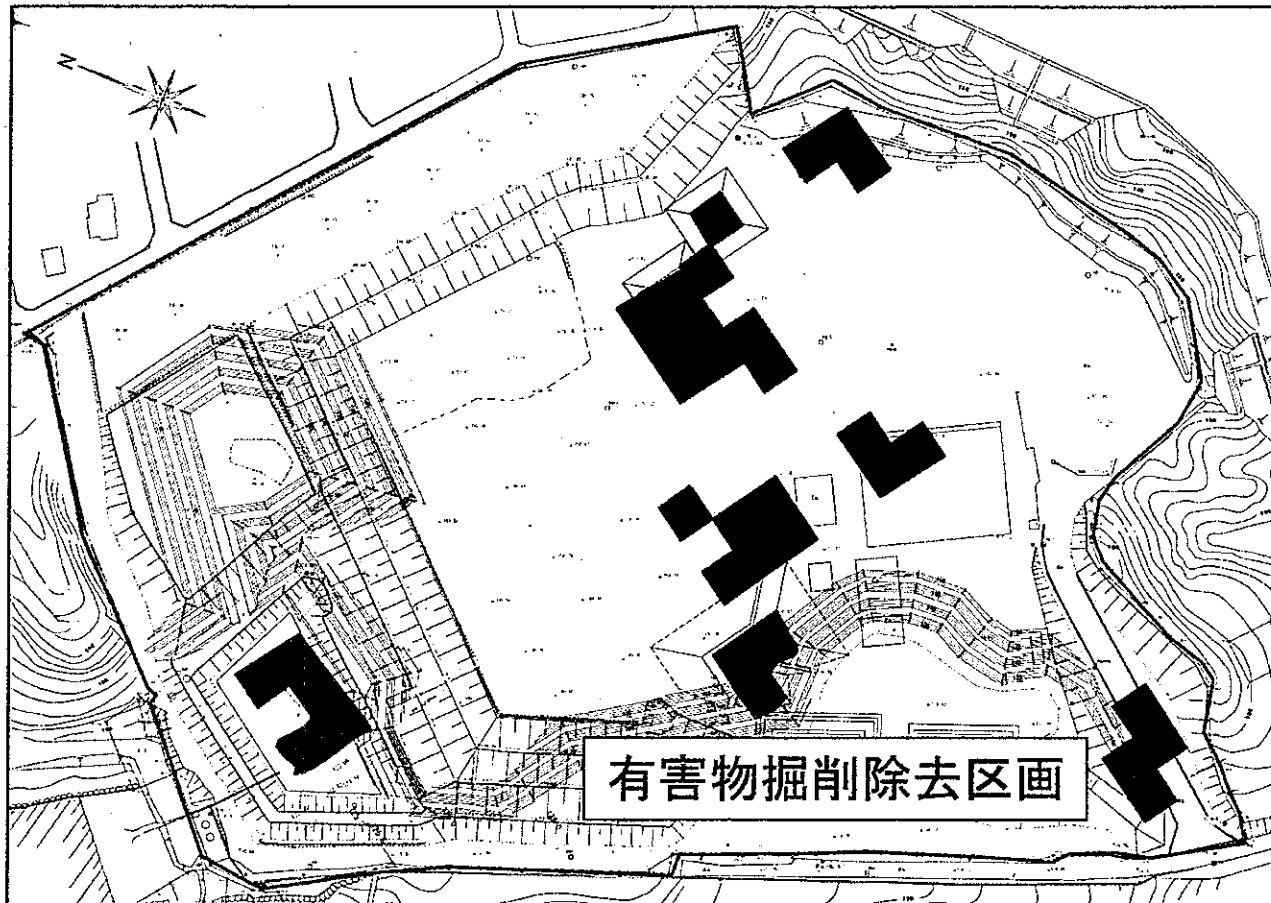
二次対策工事

目的

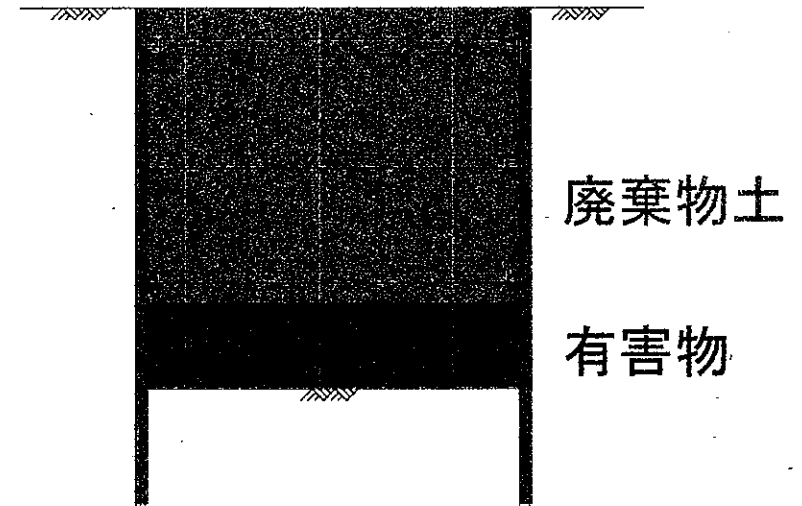
③有害物等の掘削除去

有害物・・・土壤環境基準を超過した廃棄物土

ドラム缶等、その内容物が浸潤した廃棄物土



調査で位置と深度を特定した
有害物を掘削し除去する



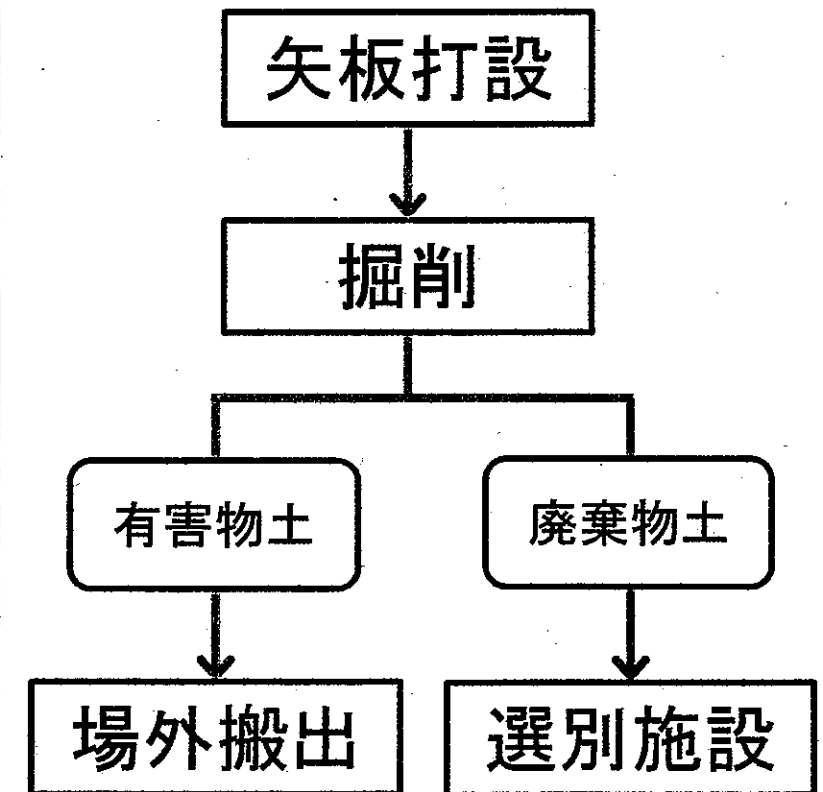
二次対策工事

③有害物等の掘削除去

目的

③有害物等の掘削除去

- ・位置を特定した有害物で深い箇所は矢板切梁工法やケーシングによる掘削を実施
- ・概ね平成29年度以降に施工予定であるが一部(現選別施設箇所)はすでに施工済み



二次対策工事

④キャッピングによる飛散防止

目的

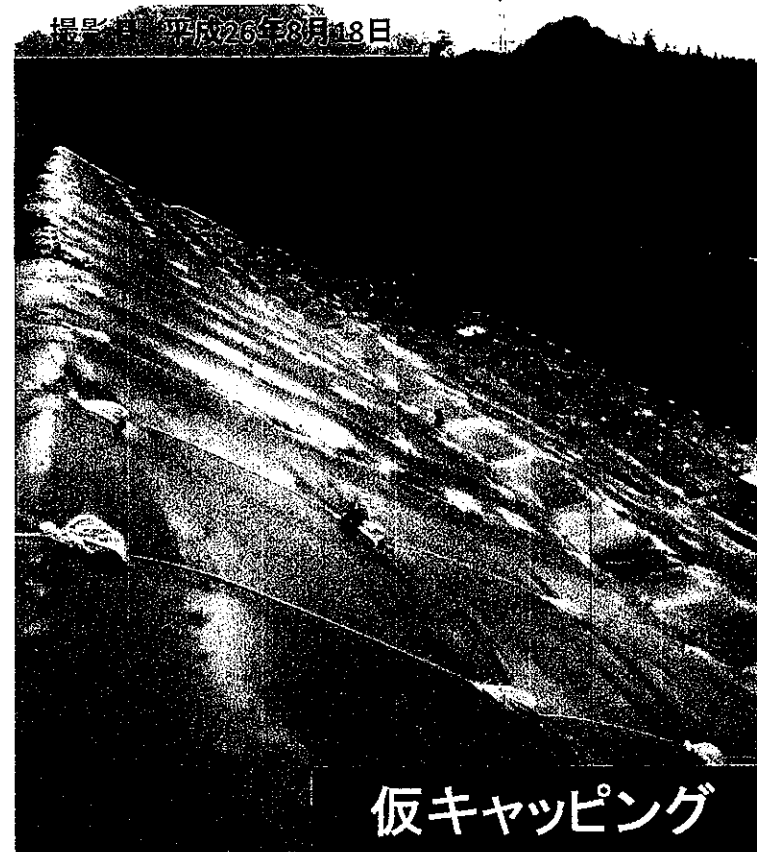
④キャッピングによる飛散防止

- ・覆土、防草シート、アスファルト舗装によりキャッピング
- ・廃棄物の飛散を防止し雨水の浸透を軽減

撮影日 平成26年3月17日



防草シート



仮キャッピング

支障除去二次対策工 工程表(案)

▼大臣變更同意

▼延長特措法期限

[illegible][illegible][illegible][illegible]

工事進捗率(工事費ベース) 計画67% 実績69% (H29.2月末時点)

■A区画 有害物掘削
鋼矢板打設(圧入)時の支障物

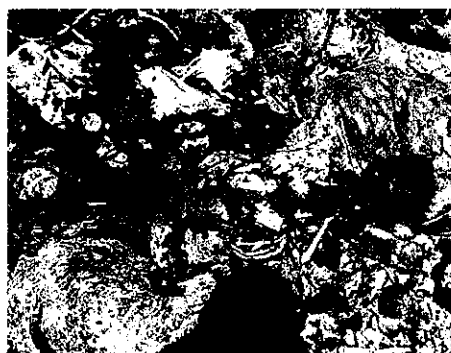


■A工区 止水鋼矢板打設(圧入)時の支障物

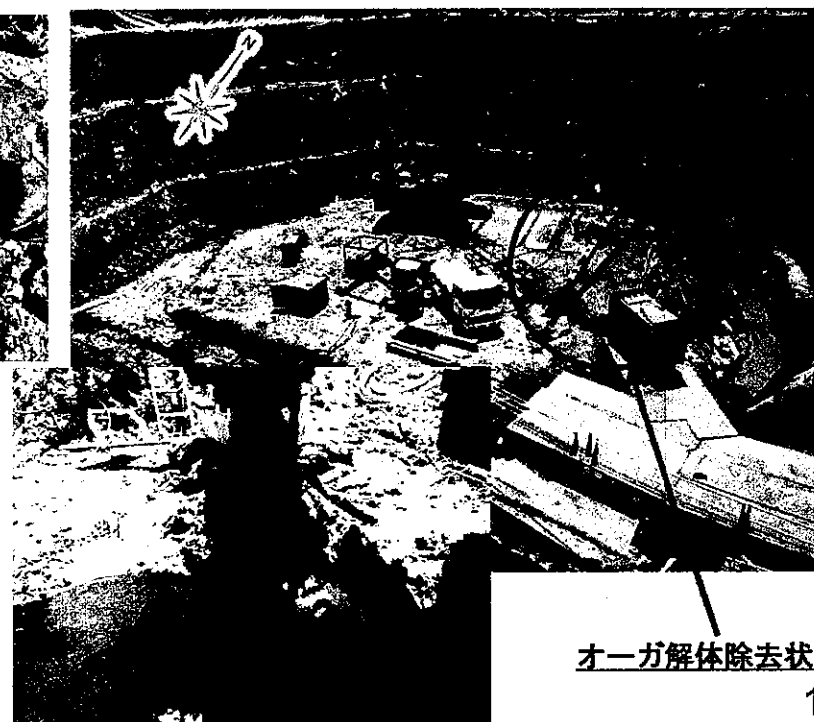


H形鋼

山形鋼



ロール状のビニール廃棄物

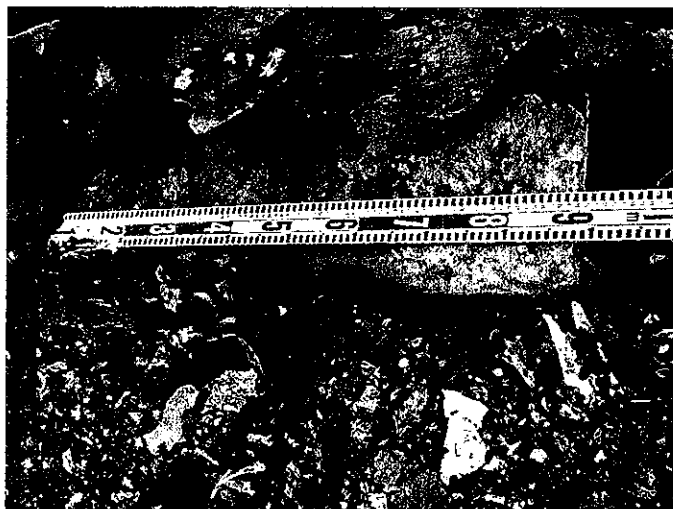


オーガ解体除去状況

■現場で確認できる支障物と成り得るもの(A・B・C・D工区に埋まっていたもの)



廃棄物土から出た鋼材



H 鋼



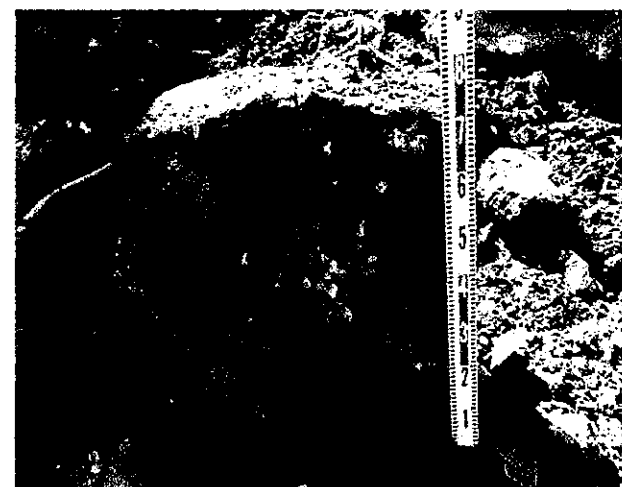
鉄 板



金属類 (パイプ、形鋼、鉄板等)



コン殻



コン殻